

## 各社の考え方

## □ 算定を行う背景・目的

- サプライチェーン排出量を把握することにより、特に米飯類の工場や配送センター等サプライヤーにおけるエネルギー使用状況(電気代、燃料費等)と削減の方向性を共有する。
- 当社のオリジナル商品の排出量を算定し、その商品のカーボンオフセットを実現する。その情報をお客さまに開示することにより、カーボン・オフセット商品等環境配慮に関する普及・啓発と商品の販売促進につなげる。
- 統合報告書、環境報告書およびホームページ等での自社排出量の開示および環境アンケートへの対応により、当社の取組みへの理解を図る。

## □ 算定結果の活用方法

- サプライチェーンのどの段階で排出しているのかを把握し、削減余地のある分野(項目)の方向性等を検討していく。
- 当社で導入している省エネ機器等の削減対策の費用対効果などを確認する。
- 統合報告書、環境報告書およびホームページ等での自社排出量の開示や、環境アンケートの開示資料として利用する。
- カーボンオフセットの商品開発によりお客さまの環境配慮商品の購入を促進し、お客さまとともに環境活動を推進する。

## □ 算定のメリット

- 上記活用方法を通じて、削減ポテンシャルの明確化、削減対策の評価、サプライチェーン排出量の開示、お客さまとの環境活動の推進等が可能になること。

## □ 社内の算定体制

- 環境推進部門がデータを収集した。収集元は下記のとおりである。
  - ベンター・配送センターデータ→各社へのアンケート
  - 廃棄物量→電子マニフェスト、廃棄物管理会社データ、容り法契約資料
  - その他仕入量→経理書類等
- 算定は同部門で行った。

## 各社の考え方

### □ サプライチェーン排出量の削減に向けて

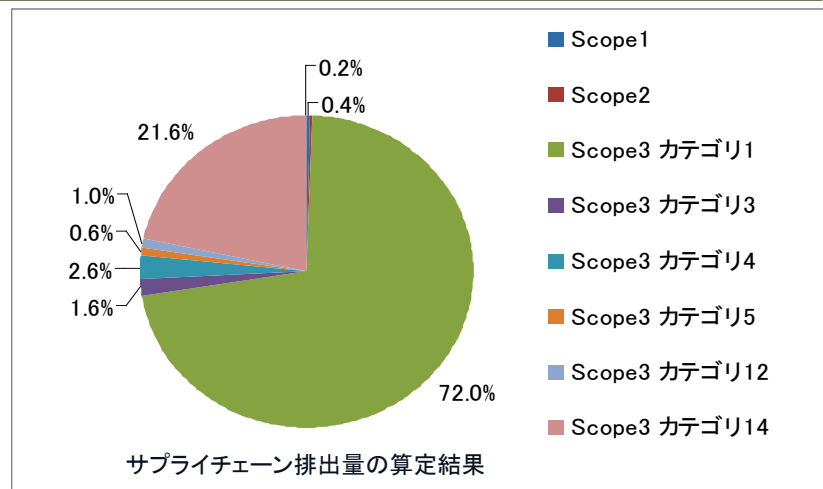
- これまでも、LED照明やノンフロン型(CO2冷媒)冷凍・冷蔵システム等の省エネルギー機器の導入、エコドライブの推進、レジ袋・割り箸使用量の削減、包材の軽量化や非石油化の推進等の削減施策を行ってきた。
- 今回行った算定を通じて、サプライチェーンのどの部分の削減ポテンシャルが高いかを把握し、より効率的な削減を目指す。例えば、カテゴリ1の排出量については、需要に即した商品等の仕入を行うことで、その削減を推進する。

### □ サプライチェーン排出量算定の課題

- 排出量が多数を占めているカテゴリ1において、現状は金額ベースで大まかな原単位を当てはめる形で算出を行なっているため、製品の細かな変化による削減(原材料の変更等)を反映できない。また、インフレ等による物価変動の影響も大きいと考えられる。
- 企業の成長に応じて排出量が増加してしまうため、原単位化を行うことが必要である。今後、どの原単位を用いるかについて、取り扱う商品・サービスを踏まえ検討したい。

### □ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ

- まずは、全体を把握することで、どの部分に焦点を当てて取り組むのかが見えてくると思います。優先順位を付けて削減に取り組むためにも(コストと効果を含めて)どこが削減できるのかを検討していくための貴重なデータになると考えます。



カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PB(プライベートブランド)も含めた全商品の仕入原価</li> <li>● レジ袋の購入重量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3EID</li> </ul>
カテゴリ3「Scope1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本社、事業所(支社・支店)、店舗の電気使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原単位DB*</li> </ul>
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配送センターにおけるエネルギー使用量及び燃料使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 算定・報告・公表制度提供値</li> <li>● 電力排出係数 (0.381kgCO<sub>2</sub>/kWh)</li> </ul>
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗の店内ごみ箱に廃棄される種類別処理方法別廃棄物量 (※一日あたり店舗排出量から、年推計値を算出。店外・店内比率は、6店舗4日間のサンプルデータより推計)</li> <li>● 店舗閉店・改装時の種類別廃棄物量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原単位DB*</li> </ul>
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品容器の材質別仕入れ重量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CFP利用可能DB</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レジ袋の仕入れ重量</li> <li>● 割り箸の仕入れ推定重量 (※膳数と一膳あたり重量から推定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原単位DB*</li> </ul>
カテゴリ14「フランチャイズ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フランチャイズ店舗の電気使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同電力排出係数</li> </ul>